

産衛だより

平成 25 年度第 1 回理事会議事録

日 時：平成 25 年 4 月 13 日（土）13：00～17：00

場 所：東京八重洲ホール

出席者：大前和幸（理事長）、圓藤吟史（副理事長）、相澤好治、五十嵐千代、大久保靖司、加藤 元、岸 玲子、車谷典男、小林章雄、五味秀穂、齊藤政彦、菅沼成文、住徳松子、諏訪園靖、角田 透、中川秀昭、昇淳一郎、野見山哲生、原田規章、東 敏昭、広瀬俊雄、廣部一彦、堀江正知、宮本俊明、柳澤裕之（以上理事）、實成文彦、中明賢二（監事）

欠席者：大脇多美代、萩野景規、清田典宏、中路重之、吉田 勉

次期理事候補者の出席：川上憲人、久保田昌詞、柴田英治、菅原 保、笹島 茂、谷川 武、村田勝敬、山田誠二、吉田貴彦

次期監事候補者の出席：藤田雄三

理事出席者 25 名であることから、定款第 38 条により、理事会が成立していることを確認した。

出席者全員の自己紹介がなされた。

審議事項

- 平成 24 年度第 4 回理事会議事録の確認：齊藤総務担当理事一部表現を訂正して了承された。
- 臨時理事会議事録の確認：齊藤総務担当理事了承された。
- 公益法人移行および細則等の改正について：大前理事長
平成 25 年 2 月 18 日に内閣総理大臣より公益社団法人として認定され、移行登記手続を行い、平成 25 年 3 月 1 日付で当学会は公益社団法人となったことが報告された。3 月 1 日以降は、新定款、新細則、また法人法に基づく運営となっていること、および主な変更点や留意点が改めて説明された。
齊藤総務担当理事より、前回理事会及び臨時理事会で承認された新諸規程、細則（案）について説明された。一部の細則（案）は総会の議を経て施行される。理事会議決により改変する細則（案）については、改めて検討するよう求められた。
- COI の規程について：圓藤副理事長
圓藤副理事長より、COI に関するワーキンググループにて策定した COI に関する規程（案）が提示され、目的はじめ内容が説明された。定義については別途ガイドラインの作成を検討していると報告された。質疑応答を経て、この規程は承認された。今後、編集委員会ではこの規程を投稿規程に反映させて投稿者の COI を進めていくこととし、年次学会では来年度より一般会員の学会発表にも適用させる等、徐々に整備していくこととなった。
- 平成 25 年度の総会開催について：齊藤総務担当理事
本年度の総会開催について、これまでの総会運営と変わる点が説明され、日時、場所、議案、欠席代議員の議決権代理

行使のための委任状様式及び提出期限、進行方法について審議し決定した。代議員に対して出席を呼びかけるよう求められた。

- 平成 24 年度事業報告案について：齊藤総務担当理事
平成 24 年度の実業報告案が提示され説明された。一部の情報を更新して承認された。
- 平成 24 年度決算報告案について：角田経理担当理事
平成 24 年度の会計計算書類をもとに説明がされた。総会承認を経て行った資産の組換についても説明された。平成 24 年度決算報告案は原案どおり承認された。
また、平成 25 年 4 月 10 日に、公認会計士立会いのもと監事による監査が行われ、平成 24 年度の業務ならびに会計は適正であったとの報告を受けたことが報告された。
- 平成 25 年度の実業計画案について：齊藤総務担当理事
前回理事会にて確認した事業計画案について、公益目的事業の予定等が改めて説明され、一部表現を訂正して承認された。
- 平成 25 年度の予算案等について：角田経理担当理事
前回理事会にて確認した予算案について、平成 24 年度の決算を踏まえて修正した案が提示され説明された。また、業務増加と危機管理の観点から、事務局を 2 名体制にすることが提案され了承された。これに伴う人件費の増額が承認された。
大前理事長より、公益社団法人に移行したことに伴う寄附金の税制上の優遇制度が説明され、寄附の募集が呼びかけられた。
- 労働衛生関連政策法制度検討委員会からの提案について：岸理事
前回理事会審議を踏まえて労働衛生関連政策法制度検討委員会で修正した「労働衛生法令の課題と将来のあり方」についての提言案が提示され、加筆内容、数字の更新等が説明された。またこれについては第 86 回日本産業衛生学会において会員向けにフォーラムを開催すること、この提言を基に 2 つのワーキンググループを設置し、加えて望ましい産業保健制度のありかたについても検討を進めていく方針であることが報告された。
提言の公表に際しては委員長名を明記した委員会発信とするよう求められた。
また、委員会で検討した委員会の英文名称「Occupational Health Policies and Regulations Committee」が提示され承認された。
- 編集委員会からの提案について：車谷理事
Journal of Occupational Health の査読に剽窃検知ツール（CrossCheck）を導入することが提案された。検討項目、経過が説明され、同ツールの特性、費用等が説明された。質疑応答の結果、このツールの導入が承認された。
- 産業疫学研究会からの提案について：諏訪園理事
産業疫学研究会において、これまで産業疫学研究についての倫理を検討してきた経緯とその必要性が説明され、学会として「産業疫学研究における倫理指針」（仮称）を制定することが提案された。審議の結果、指針を策定することとし、

倫理審査委員会にて原案を作成することとなった。

13. 次回理事会日程について：斉藤総務担当理事
 今回は平成 25 年 6 月 29 日（土）、次々回は平成 25 年 9 月 21 日（土）の予定。
14. その他
 - ①労働衛生関連政策法制度検討委員会の新委員推薦について：岸理事
 1 名の委員の退任と交代、1 名の新委員の追加が報告され、理事長より委嘱されることとなった。
 - ②学会荣誉賞について
 前回理事会にて創設された学会荣誉賞について、総務担当理事が策定した細則案が提示された。追加修正等の意見が出され、再検討することとなった。
 - ③第 88 回日本産業衛生学会の開催地について
 平成 27 年度開催の同学会は、近畿地方会が担当することとなった。

報告事項

1. 第 86 回日本産業衛生学会準備状況報告：菅沼理事
 地域交流会の内容などが報告され、参加が呼びかけられた。また谷川 武企画運営委員長より、若手重視の新しい取り組みや、ポスター賞選考を行うこと等が紹介された。
2. 第 87 回日本産業衛生学会準備状況報告：原田理事
 学会誌に第 1 報の案内が掲載されたことが紹介された。
3. 第 22 回産業医・産業看護全国協議会会計報告：五十嵐理事
 次回の関東地方会での承認を経た結果が次回理事会に報告される。
4. 第 23 回産業医・産業看護全国協議会準備状況報告：斉藤理事
 平成 25 年 9 月 25 日に開催予定であった 4 部会合同セミナーが、会場の都合等により 9 月 13 日に変更になったこと等が報告された。
5. 第 24 回産業医・産業看護全国協議会準備状況報告：中川理事
 会期（平成 26 年 9 月）、場所（石川県）等の予定が報告された。
6. 厚生労働省の監査について：角田経理担当理事
 平成 24 年 10 月 26 日に受けた厚生労働省の定例監査について、厚生労働省から指摘のあった改善勧告の内容が説明され、それに対して改善報告書を提出したことが報告された。
7. 厚生労働省との意見交換会について：堀江理事
 平成 25 年 2 月 9 日に厚生労働省労働基準局安産衛生部労働衛生課との懇談会を開催したことが報告された。「第 12 次労働災害防止計画（案）」等について、忌憚のない意見交換が行われたことが報告された。
8. 自殺予防総合対策センターのコンソーシアム準備会への参加について：斉藤総務担当理事
 精神保健研究所自殺予防総合対策センターにおいてコンソーシアム準備会が設立されたことを受け、加盟申請して承諾されたことが報告された。当学会の担当は廣 尚典氏（産業精神衛生研究会代表世話人）と川上憲人氏（次期理事）と

なった。

9. 中央選挙管理委員会報告：柳澤理事
 昨年度実施の役員改選選挙が平成 25 年 1 月に完了したことから、その結果が報告された。
10. 4 部会長会議報告：加藤理事
 平成 25 年 4 月 6 日に 4 部会長拡大会議を開催し、協議して各部会の細則の整合性を図ったこと、今後の検討課題を明確にしたこと等が報告された。
11. 産業医部会報告：斉藤理事
 産業医部会報第 47 号を発行したこと等が報告された。
12. 産業看護部会報告：住徳理事
 部会員数、事業報告、事業計画が報告された。研究活動助成金を設けて 2 名に交付したこと等が報告された。
13. 産業衛生技術部会報告：堀江理事
 今年度の活動予定（専門研修会、フォーラム、技術部会大会）が紹介され、参加が呼びかけられた。
14. 産業歯科保健部会報告：加藤理事
 事業報告、事業予定が報告され、第 86 回日本産業衛生学会における企画等が紹介された。
15. 専門医制度委員会報告：東理事
 登録者数（指導医 278 名、専門医 159 名、研修登録医 392 名）、平成 25 年度専門医試験日程（平成 25 年 8 月 24 日・25 日）、専攻医試験日程（平成 25 年 5 月 18 日・6 月 22 日・9 月 28 日）等が報告された。指導医や研修施設が不足していること、研修医数に対して受験者が少ないこと等が報告され、受験推奨が呼びかけられた。
16. 生涯教育委員会報告：宮本理事
 昨年度の GPS 募集期間中に 22 件の投稿があり、その中からベスト GP 賞 1 題、GP 奨励賞 3 題を決定したことが報告された。
17. 編集委員会報告：野見山理事
 2012 年優秀論文賞を 3 点選出したことが報告された。また、昨年度の活動と今年度の予定、論文投稿・採択・掲載状況が報告された。
18. 震災関連石綿・粉じん等対策委員会報告：広瀬理事
 同委員会で作成した最終の報告書が提示され、第 86 回日本産業衛生学会において会員に報告すること、また公開用の冊子を作成したことが報告された。非常設委員会であった同委員会はこれをもって閉会し、公開用冊子の普及のための実務のみを残すこととなった。また関連する石綿関連 4 学会連絡会については、あと一回の開催をもって活動を停止することを、本学会から提案することとなった。
19. 関連団体情報報告：各担当
 ・日本医学会総会、日本職業・災害医学会学術大会が紹介された。
 ・禁煙推進学術ネットワークの委員会議事録が提示された。
20. 担当理事報告：各担当
 なし
21. 公的委員会等情報報告：各担当
 なし

22. 学会名簿使用許可報告：斉藤総務担当理事
産業看護部会の部会員名簿の使用許可 1 件, 産業看護職の
会員名簿の使用許可 1 件の申請があり, 許可したことが報告
された。
23. 研究会世話人交代について：斉藤総務担当理事
以下の 2 件が報告された。
・労働衛生史研究会 新代表世話人：清水英佑氏
・産業栄養研究会 新代表世話人：由田克士氏
24. 会員の状況：斉藤総務担当理事
正会員数：7,434 人（平成 25 年 4 月 2 日現在）
25. 協賛・後援等：斉藤総務担当理事
以下の 6 件が報告された。
・平成 25 年度医療機器安全基礎講習会（第 35 回 ME 技術
講習会）（協賛）
・第 19 回第 1 種 ME 技術実力検定試験および講習会（協賛）
・健康開発科学研究会主催「2013 フォーラム」（後援）
・第 30 回エアロゾル科学・技術研究討論会（共催）
・第 6 回国際ナノテクノロジー労働環境衛生シンポジウム
（後援）
・第 21 回日本産業ストレス学会（後援）
26. その他：斉藤総務担当理事
・他団体からの協力依頼等が紹介された。
・第 21 回産業医・産業看護全国協議会への援助について
第 21 回産業医・産業看護全国協議会より申請されてい
た赤字決算への補填について, 住徳理事より九州地方会
での協議と対応についての報告がなされた。今回は特例と
して, 赤字金額より九州地方会にて助成された金額を差し引
いた残金分を, 学会より補填することとした。
・若手研究者の会について
前回理事会にて設置された若手研究者の会は, 生涯教育
委員会の中の一組織として活動することとなった。第 86
回日本産業衛生学会で自由集会を企画していることが報告
された
・今後の経理について
角田経理担当理事より, 公益法人移行に伴い, 公益法人
会計に対応するため, 杉本総合会計事務所からの提案を受
けて新会計システムを導入したことが報告された。
大前理事長より, 今後の会計では寄附金の運用, 源泉徴
収の方法など, 新しいシステムの構築が必要であり, 今後
の協力が呼びかけられた。

平成 25 年度総会議事録

日 時：平成 25 年 5 月 14 日（火）15：00～17：00
場 所：ひめぎんホール（愛媛県民文化会館）第一会場
メインホール
議 長：谷川 武
副議長：菅沼成文

1. 開会

斉藤政彦総務担当理事の司会で開会した。

2. 谷川 武第 86 回日本産業衛生学会企画運営委員長から挨拶がなされた。
3. 平成 24 年 5 月から平成 25 年 5 月までの物故会員報告が斉藤政彦総務担当理事よりなされた。小國親久, 田中一郎, 加美山茂利（名誉会員）, 高橋健夫, 石山和夫, 小野善子, 桑崎 修, 高橋信雄, 野見山一生, 畑 仁, 前田 裕（名誉会員）, 岩井 淳, 谷口珪二, 中野碩夫, 東田敏夫（名誉会員）, 吉中光男, 三原康生, 以上 17 名の先生方のご冥福を祈り黙祷を捧げた。
4. 理事長挨拶
大前和幸理事長から挨拶がなされ, 当学会が平成 25 年 3 月 1 日付にて公益社団法人に移行したことが報告された。公益社団法人としての今後の運営について, 新定款や新細則が紹介され, 主な変更点や留意点が説明された。
5. 議長選出
斉藤政彦総務担当理事より, 議長として谷川 武企画運営委員長が推薦され, 承認された。谷川武議長より, 副議長として菅沼成文氏（高知大学）が推薦され, 承認された。
6. 議事録署名人選出
議事録署名人を議長が指名することが承認され, 谷川 武議長により, 近藤亨子氏（伊予鉄道健康保険組合）, 横本宏子氏（医療法人精華園海辺の杜ホスピタル健康推進室）が指名された。
7. 総会の成立
斉藤政彦総務担当理事より, 代議員総数 642 名へ封書を用いて開催の通知を行い, 533 名（83%）から回答を受けたこと, うち総会出席者は 118 名, 指名のある委任状提出者は 412 名, 合計すると 530 名で代議員の過半数を超えており, 定款第 21 条により総会が成立していると報告された。

審議事項

第 1 号議案 役員の選任に関する細則について

斉藤政彦総務担当理事より, 資料を基に概要の説明がなされた。

質問や異議は無く, 第 1 号議案は原案通り可決された。

第 2 号議案 代議員の選任に関する細則について

斉藤政彦総務担当理事より, 資料を基に概要の説明がなされた。

質問や異議は無く, 第 2 号議案は原案通り可決された。

第 3 号議案 会費に関する細則について

角田透財務担当理事より, 資料を基に概要の説明がなされた。

質問や異議は無く, 第 3 号議案は原案通り可決された。

第 4 号議案 平成 24 年度決算報告案

角田 透財務担当理事より, 平成 24 年度決算報告について, 資料をもとに説明がなされた。

公益社団法人化にあたり, 「基金会計」をいったん取り崩して, 「基本財産」を新たに設定したことも説明された。

続いて中明賢二監事より監査報告がなされた。實成文彦監事, 中明賢二監事の両名が, 杉本賢司公認会計士立会いのもとに監査を行ったこと, その結果, 収支決算等は適正である

と認められたことが報告された。

質問や意義はなく、第4号議案は原案通り可決された。

第5号議案 役員の選任

柳澤裕之中央選挙管理委員会委員長より、役員選挙の結果が下記のように報告され、理事および監事の選任についての承認が求められた。

理事長候補者：圓藤吟史

理事候補者：五十嵐千代、圓藤吟史、大久保靖司、

大前和幸、荻野景規、加藤 元、川上憲人、岸 玲子、久保田昌詞、車谷典男、五味秀穂、齊藤政彦、柴田英治、菅沼成文、菅原 保、住徳松子、諏訪園靖、笠島 茂、谷川 武、角田 透、中川秀昭、野見山哲生、原田規章、東 敏昭、堀江正知、宮本俊明、村田勝敬、柳澤裕之、山田誠二、吉田貴彦

監事候補者：實成文彦、藤田雄三

大前和幸理事長より追加説明：旧定款の時期に選挙は行われた。新定款のもとでは、理事長は理事会が決めることになっており、本会後の理事会で理事長を決めることになっている。次回からは、理事長候補者の選挙は行わない。

質問・異議はなく理事および監事は報告どおり選任された。

第6号議案 名誉会員の推薦

齊藤政彦総務担当理事より、名誉会員として河野啓子先生（四日市看護医療大学、東海地方会）と荒記俊一先生（埼玉産業保健推進センター、関東地方会）を推薦するとの説明があった。また以下に示す受賞者の報告があった。

学会賞：川上憲人先生

学会栄誉賞（新規創設）：小木和孝先生

奨励賞：竹内靖人先生、森口次郎先生

功労賞：福光ミチ子先生、福地保馬先生

質問・異議はなく、第6号議案は可決された。

報告事項

1. 機関誌の発行

笠島 茂編集委員長より、資料をもとに、発行状況が説明された。

産業衛生学雑誌では34編が投稿され、20編が掲載された。Journal of Occupational Health (JOH) は262編が投稿され、58編掲載された。若干採択率が低下してきているのは、掲載に費用のかかるジャーナルが増えていて、そのようなところから流れてきた論文のために質の低下がみられるようである。First Author は、日本から19編、国外39編。国外では、韓国、中国、台湾が主であった。

日本学術振興会平成24年度科学研究費補助金を取得し、平成27年度分までの補助が認められた。

剽窃検知サービス (CrossCheck) の採用を検討していたところ、理事会で承認された。

2. 平成24年度事業報告

齊藤政彦総務担当理事より、平成24年度事業報告について、資料を基に概要の説明がなされた。別添資料に、労働衛

生関連政策法制度検討委員会と震災関連石綿・粉じん等対策委員会からの報告が掲載されていることが紹介され、各委員長から概要の説明がなされた。

3. 平成25年度事業計画

齊藤政彦総務担当理事より、平成25年度事業計画について、資料を基に概要の説明がなされた。

4. 平成25年度予算

角田 透経理担当理事より、平成25年度予算について、資料を基に概要の説明がなされた。総会資料のp77は従来の方で記載されており、p78は公益社団法人としての方法で記載されている。

また、財務担当より、公益法人へ移行したため予算を前年度の年末までに出さなければならない、今年の12月には平成26年度の予算を出さなければならないことを各自留意するようにと要請があった。

5. 第87回日本産業衛生学会開催準備状況

荻野景規企画運営委員長より、第87回日本産業衛生学会は、平成26年5月21日から24日にかけて、岡山コンベンションセンターで行うとの説明と挨拶があった。同じ場所で引き続き、日本衛生学会が行われる（主幹：川崎医科大学）。

6. 第88回日本産業衛生学会開催地について

齊藤政彦総務担当理事より、平成27年度に開催される第88回日本産業衛生学会開催地について、近畿地方会が担当となることが理事会では承認されていることが報告された。

7. 第23回産業医・産業看護全国協議会開催準備状況

齊藤政彦企画運営委員長より、挨拶があった。平成25年9月に名古屋の国際会議場を主会場に開催される（9月26日から28日）、当初9月25開催予定だった合同セミナーが9月13日開催に変更となった。

8. 第24回産業医・産業看護全国協議会開催地について

齊藤政彦総務担当理事より、平成27年度に開催される第24回産業医・産業看護全国協議会について、北陸甲信越地方会が担当となることが理事会では承認されていることが報告された。

9. 第22回産業衛生技術部会大会準備状況

加藤隆康産業衛生技術部会長より、第22回産業衛生技術部会大会準備状況について、説明と挨拶があった協議会と同時開催し、併せて第17回産業衛生技術専門研修会を計画している。

10. 許容濃度等に関する提案

矢野栄二許容濃度等に関する委員会委員長より、委員会における検討結果が報告された。総会資料では第143回まで記載されているが、その後第144回を金沢で行い、第145回を本日、総会直前に行っていることが説明された。

11. 受賞報告

齊藤総務担当理事より以下の受賞者の報告があった。編集委員会による産業衛生学会誌優秀論文賞：大原賢了先生、畑中陽子先生、藤野善久先生
生涯教育委員会によるベストGP賞：杉原由紀先生、GP奨励賞：相澤和幸先生、中原浩彦先生、(3名連記)吉川悦子先生、仲尾豊樹先生、毛利一平先生

この他に意見, 提案はなく, 閉会となった.

平成 25 年度新入会者

平成 25 年度臨時理事会議事録

日 時: 平成 25 年 5 月 14 日 (火) 17:00 ~ 17:30

場 所: ひめぎんホール (愛媛県県民文化会館) 第 3 会議室

出席者: 五十嵐千代, 圓藤吟史, 大久保靖司, 大前和幸,
荻野景規, 加藤 元, 川上憲人, 岸 玲子,
久保田昌詞, 車谷典男, 齊藤政彦, 柴田英治,
菅原 保, 菅沼成文, 住徳松子, 諏訪園靖, 笠島 茂,
角田 透, 谷川 武, 中川秀昭, 野見山哲生,
原田規章, 東 敏昭, 堀江正知, 宮本俊明, 村田勝敬,
柳澤裕之, 山田誠二, 吉田貴彦 (以上理事),
藤田雄三 (監事)

欠席者: 五味秀穂 (理事), 實成文彦 (監事)

理事出席者 29 名であることから, 定款第 38 条により, 理事会が成立していることを確認した.

審議事項

1. 理事長の選出について

齊藤理事より, 任期満了に伴う理事長の選出について, 昨年度実施した理事長候補者選挙結果が報告されたあと, 圓藤吟史理事を理事長に推挙され, 異議はなく選定された. 圓藤吟史理事は理事長に就任することを承諾した.

2. 業務執行理事の選出について

圓藤理事長より, 業務執行理事を下記のように選出することが提案され, 異議はなく選定された.

副理事長 : 東 敏昭理事

総務担当理事: 大久保靖司理事, 川上憲人理事

経理担当理事: 五味秀穂理事, 角田 透理事

[北海道] 秋林奈緒子, 太田千鶴子, 築島 健 [茨城] 井上嶺子, 波見美香枝 [栃木] 菊地麻由佳, 原田若奈, 森島朝子 [埼玉] 高橋まりあ, 三浦佐智子 [東京] 飯田貴子, 狩野恵美子, 倉橋敦也, 税所俊光, 杉山公太, 松田正道, 渡邊直大 [神奈川] 青柳由季子, 飯田裕貴子, 池田晴恵, 小山田智美, 河野美樹, 崎山紀子, 関塚宏光, 田邊純子, 野澤弘樹 [新潟] 磯貝聡子 [石川] 佐藤朝子, 山崎千晶, 渡邊亜梨珠 [長野] 清水寿美子 [静岡] 相摸年恵, 深澤麻里子, 望月友美子 (学生会員), 柳川祥子 [愛知] 諫山優美, 笠井明日香, 金井彰夫, 郷田妙美, 竹岡麻衣, 丹羽理恵子, 渡会敦子 [三重] 豊田芳美, 富士原美保子 [京都] 松若由子 [大阪] 大城戸友美, 大塚創平, 大村晃代, 坂元未緒, 田淵優奈, 出口博久, 土肥二郎, 林麻利子, 深井恭佑 [兵庫] 紙名祝子, 瀧口好三, 浜西誠司, 樋口純子, 森川英子 [島根] 秋田絵美 [岡山] 井上真一郎, 公文 崇 [山口] 後藤元秀, 長田周也, 縄田直恵 [愛媛] 多喜田理絵, 中村真由美, 古川慎哉 [高知] 小味慶子 [福岡] 岡崎龍史, 鎮守信弘 [熊本] 馬場敦子 (学生会員), 久田 文, 福本久美子 [宮崎] 門脇康二 [鹿児島] 北原淳詞

第 87 回日本産業衛生学会 (第 3 報)

第 87 回日本産業衛生学会 学会長 萩野景規

※詳細は、第 87 回日本産業衛生学会ホームページ (<http://www.convention-w.jp/jsoh87/>) を参照下さい。

1. 会 期：平成 26 年 5 月 21 日 (水)～24 日 (土)
特別研修会：平成 26 年 5 月 25 日 (日)
2. 会 場：岡山コンベンションセンター(ママカリフォーラム)
(岡山県岡山市北区駅元町 14-1)
岡山全日空ホテル
(岡山県岡山市北区駅元町 15-1)
岡山シティアム
(岡山県岡山市北区駅元町 15-1)
3. 学会長：萩野景規 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
公衆衛生学分野 教授)

4. メインテーマ：産業保健：原点から未来へ
サブテーマ：抗少子化及び抗加齢化

5. 企画概要 (予定)

- ・メインシンポジウム
 - ・特別講演 (市民公開)：田原総一郎 (ジャーナリスト)
 - ・教育講演：大原謙一郎 (大原美術館, 倉敷中央病院 理事長)
酒井一博 (公益財団法人 労働科学研究所 所長)
- その他、シンポジウムなどの特別プログラムと、一般演題 (ポスターおよび口演) から構成します。

6. 参加登録

学会参加費、出題費、懇親会ならびに特別研修会参加費の事前登録は、第 87 回日本産業衛生学会ホームページ (<http://www.convention-w.jp/jsoh87/>) にて扱います。

なお、本年度は払込取扱票の配布は行いません。Web でのオンライン申込のみの受け付けとなります。払込取扱票によるお支払いをご希望の場合、運営事務局 (株式会社共同) まで、ファックスまたはメールにてご請求ください。原則として登録後の返金はいたしませんので、ご注意ください。詳細は、今後「産業衛生学雑誌」に掲載するか、学会ホームページにて順次公開してまいります。

①学会参加費

事前登録は、平成 26 年 2 月 24 日 (月) まで第 87 回日本産業衛生学会ホームページ (<http://www.convention-w.jp/jsoh87/>) にて扱います。

筆頭発表者は必ず学会参加費とともに、演題採否の通知後 10 日以内にお支払いください。※事前参加登録の金額にて扱います。

事前登録をされた方には、締切後に参加証を郵送いたします。

■学会員

事前登録 (第 87 回日本産業衛生学会 単独)：8,000 円
(締切 平成 26 年 2 月 24 日 (月) まで)

事前登録 (第 87 回日本産業衛生学会と第 84 回日本衛生学会
学術総会の両学会)：

12,000 円 (7,000 円 + 5,000 円) ※学会員限定

(締切 平成 26 年 2 月 24 日 (月) まで)

当日登録：10,000 円

(事前登録の締切以降は当日受付でお支払いください)

■非学会員

事前登録：9,000 円 当日登録：10,000 円

■学生・大学院生：

事前登録：6,000 円 当日登録：8,000 円

②出題費

1 題につき 2,000 円

筆頭発表者は必ず学会参加費とともに、演題採否の通知後 10 日以内にお支払いください。

③懇親会費 (会員・非会員共通)

事前登録：9,000 円 当日登録：10,000 円

学生・大学院生：8,000 円

④特別研修会

第 87 回日本産業衛生学会のホームページ (<http://www.convention-w.jp/jsoh87/>) にてご案内いたします。

7. 演題申込および抄録原稿受付

一般演題の申込および抄録原稿の受付はインターネットにより行います。(平成 25 年 11 月 11 日 (月) 開始)。

①演題申込および抄録原稿受付の締切

平成 25 年 12 月 18 日 (水) 午前 11 時 ※時間厳守

②申込方法

インターネットによるオンライン申込です。第 87 回日本産業衛生学会のホームページ (<http://www.convention-w.jp/jsoh87/>) にてご案内いたします。

③発表形式

一般演題は全てポスター発表として受け付け、プログラム委員会により採否の決定を行います。採択された全演題のうち、プログラム委員会により口演が適当と評価された演題は、口演発表していただきます。

採否および発表形式は、平成 26 年 3 月上旬までに通知いたします。

※口演発表およびポスター発表の要領については、第 87 回日本産業衛生学会のホームページ (<http://www.convention-w.jp/jsoh87/>) および産業衛生学雑誌にてご案内いたします。

④一般演題は、筆頭発表者としては 1 人 1 演題の申込とさせていただきます。

⑤筆頭発表者は、演題申込の時点で日本産業衛生学会の会員である方に限ります。会員でない方は早急に入会手続きを行ってください。入会手続きについては、日本産業衛生学会のホームページ (<http://www.sanei.or.jp/>) を御覧ください。

日本産業衛生学会事務局

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-29-8 公衛ビル内

TEL：03-3356-1536 FAX：03-5362-3746

ホームページ：<http://www.sanei.or.jp/>

8. 懇親会

会 場：ホテルグランヴィア岡山 (岡山市北区駅元町 1 番 5)

日 時：平成 26 年 5 月 24 日 (土) 19 時 00 分より (予定)

※詳細は第 87 回日本産業衛生学会のホームページ (<http://www.convention-w.jp/jsoh87/>) にてご案内いたします。

9. 研修単位の認定

特別研修会以外に、シンポジウムや講演に対して、日本医師会認定産業医制度による単位認定を申請予定です。日本産業衛生学会産業看護師：産業看護職継続教育システム・実力アップコースの単位認定を申請予定です。

10. 委員会、研究会等の申込

会期中に委員会、部会、研究会等の会場を学会会場内にご用意いたします。第 87 回日本産業衛生学会のホームページ (<http://www.convention-w.jp/jsoh87/>) にて申込方法をご案内します。締切後、学会企画運営委員会で日時・部屋割の調

整をいたしますが、ご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。

11. 今後のスケジュール概要 (予定)

演題申込期間：平成 25 年 11 月 11 日 (月)～

平成 25 年 12 月 18 日 (水)

委員会・研究会等申込期間：平成 25 年 11 月 11 日 (月)～

平成 25 年 12 月 18 日 (水)

ランチョンセミナー申込締切：平成 25 年 12 月 12 日 (木)

広告申込締切：平成 26 年 1 月 31 日 (金)

機器展示・書籍展示申込締切：平成 26 年 1 月 31 日 (金)

学会参加・懇親会・特別研修会事前登録締切：

平成 26 年 2 月 24 日 (月)

* 詳細は、今後「産業衛生学雑誌」に掲載するほか、ホームページ等でも順次公開していきます。

12. 連絡先

①学会事務局

〒 700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町 2-5-1

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 公衆衛生学分野 内
「第 87 回日本産業衛生学会」学会事務局

担当：汪 (わん)

TEL：086-235-7184 FAX：086-226-0715

E-mail：sanei87@md.okayama-u.ac.jp

②運営事務局

〒 701-0205 岡山県岡山市南区妹尾 2346-1

株式会社共同 MICE 事業部 内

「第 87 回日本産業衛生学会」運営事務局

担当：實金 (みかね)・高馬 (こうま)

TEL：086-250-7681 FAX：086-250-7682

E-mail：jsoh87@wjcs.jp

日本産業ストレス学会研修会

■テーマ：多様化する職場のメンタルヘルス諸問題への対応

■日時：平成 25 年 11 月 17 日 (日) 9:30～15:40

■場所：仙台市情報・産業プラザ アエル (仙台市青葉区中央 1-3-1)

■参加費：日本産業ストレス学会会員 4,000 円, 宮城県医師会会員 5,000 円,
宮城県以外の医師会会員・当学会非会員 6,000 円, 学生・大学院生 3,000 円

■研修プログラム

～講演・実地内容～

・ストレス調査～新職業性ストレス簡易調査票の紹介も含めて～

講師 小田切優子 (東京医科大学 公衆衛生学講座 講師)

・職場のメンタルヘルスに関する政策の動向

講師 田原 裕之 (安川電機 産業医)

・震災関連産業ストレス問題に取り組める為の日頃からの産業医・産業保健活動について

講師 広瀬 俊雄 (仙台錦町診療所・産業医学センター 所長)

・メンタルヘルス事例検討～職場におけるパワハラ問題などへの対応～

講師 石川 浩二 (三菱重工 産業医)

ファシリテーター 種市康太郎 (桜美林大学 准教授)

高崎 正子 (東芝四日市 保健師)

西 賢一郎 (ジヤトコ 産業医)

渡邊美寿津 (愛知医科大学 准教授)

■認定単位：日本医師会認定産業医制度

生涯研修 実地, 更新, 専門すべての単位 (計 5 単位)

日本産業衛生学会産業看護職継続教育システム実力アップコース 4 単位を申請中

■申込方法：申込書を事務局宛に FAX または Email で送付後, 参加費をお振込みください。

■申込受付：平成 25 年 8 月 1 日 (木)～平成 25 年 10 月 31 日 (木)

(定員になり次第, 締切させていただきます)

■申込・問合せ先：日本産業ストレス学会事務局

〒 639-0298 奈良県香芝市関屋 958

大阪樟蔭女子大学心理学部臨床心理学科夏目研究室内

TEL 0745-71-3137 (内線 565) FAX 0745-71-3142

E-mail sangyo-stress@osaka-shoin.ac.jp

URL：http://jajsr.umin.ac.jp/

第 61 回日本職業・災害医学会学術大会のご案内 (第 2 報)

日本産業衛生学会の後援のもと、第 61 回日本職業・災害医学会学術大会を開催いたします。ほぼすべてのプログラムで日本医師会認定産業医の生涯研修単位を取得できます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

大会ホームページ <http://www.procomu.jp/jsomt2013>

【テーマ】 働く人の健康と災害への備え～産業保健と災害医学のクロストーク

【会 期】 平成 25 年 11 月 30 日 (土)～12 月 1 日 (日)

【会 場】 学術総合センター 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

【大会長】 柳澤 裕之 (東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座 教授)

【後 援】 厚生労働省, 中央労働災害防止協会, 公益財団法人健康・体力づくり事業財団,
日本産業衛生学会, 日本衛生学会, 日本労働衛生工学会, 東京都医師会, 慈恵医師会,
慈恵大学, 東京慈恵会医科大学 産業医学の会, 埼玉県医師会産業医会

【認定単位】 日本医師会認定産業医研修 (更新・専門 計 22 単位)

日本整形外科学会教育研修, 健康運動指導士・健康運動実践指導者講習

【参加登録】 当日会場受付にてお手続きください

参加費 医師 10,000 円, その他の方 (臨床研修医を含む) 5,000 円

【お問合せ】 株式会社 プロコムインターナショナル内 運営事務局

TEL 03-5520-8821, FAX 03-5520-8820, 電子メール jsomt61@procomu.jp

【プログラム】

○基調講演

産業保健と災害医学のクロストーク

○特別講演

過重労働の予防対策～疲労予知のための新しいバイオマーカー

○シンポジウム

第 12 次労働災害防止計画

わが国の産業中毒の最新トピック

職場のメンタルヘルス対策～事業場外資源の活用

高齢労働者の労働安全衛生対策

職場の健康対策と遠隔医療～緊急時への対応

職域における生活習慣病の現状と課題

○特別企画シンポジウム

ロコモティブシンドロームと健康寿命～働く人の生涯健康を目指して

○教育講演

健診における眼科検査～その意義と留意点

放射線の健康影響と労働衛生

産業医学における医療の質と安全～向上に向けての取り組み

高次脳機能障害の理解と対応～復職を含めて

胆管がん問題にみる職業がん政策

災害時の復旧・復興作業におけるアスベストばく露防止対策

働く人の生活習慣病予防対策

○全国労災病院栄養士協議会シンポジウム

緊急時の危機管理対策～労災病院の災害対策の取り組み

○研修会

海外勤務健康管理指導者認定研修会

日本産業衛生学会 中小企業安全衛生研究会 第 47 回全国集会 (第 1 報)

メインテーマ: 「中小企業の元気職場づくりを効果的に進める支援モデル」

1. 会 期: 2013 年 12 月 14 日 (土) 9:30 ~ 17:00
2. 会 場: 東海大学 高輪校舎 講堂 (東京都港区, 白金高輪駅 徒歩 8 分)
3. 主 催: 日本産業衛生学会 中小企業安全衛生研究会 (担当世話人 東海大学 錦戸典子)
4. 共催・後援: 現在申請中
5. 開催趣旨: 本研究集会では, 「良好実践事例 (Good Practice) から学ぶ」をキーワードに, 職場関係者, 行政担当者, 多様な支援専門職, 研究者などが一堂に会して意見交換し, 中小企業の元気職場づくりに関する効果的な支援モデル, および推進施策へのヒントを探ります.
6. プログラム概要:
 - ①一般演題 (ポスター)
 - ②参加型ワークショップ「中小企業の元気職場づくりのヒント」
 - ③特別講演「すべての働く人と家族の幸せのために～『日本でいちばん大切にしたい会社』とは? (仮)」
講師 法政大学大学院 政策創造研究科長 坂本光司 教授
(7,000 名を超える中小企業を実際に訪問し, 中小企業の職場実態を良く知るお立場から, 職場関係者 (当事者) と支援専門職それぞれに「元気職場づくり」のヒントをいただきます.)
 - ④シンポジウム「中小企業の元気職場づくりを効果的に進める支援モデル」
7. 内容詳細と申し込み方法:

プログラム詳細, 一般演題募集要領, 参加事前登録方法, 懇親会, などについては, 決定次第ホームページに掲載しますので, ご参照下さい.
一般演題の申し込みならびに参加事前登録は, 10 月初旬から受け付ける予定です.
(一般演題〆切り予定日 11 月 5 日)

※ 日本医師会認定産業医, および日本産業衛生学会産業看護部会実力アップコースの単位を申請予定です.
問い合わせ先: 東海大学健康科学部看護学科
三橋祐子 yuko-3284@tokai-u.jp

第 18 回 産業医プロフェッショナルコース開催のお知らせ

主催 日本産業衛生学会 産業医部会
後援 財団法人労働衛生会館

企画運営委員長 浜口伝博
実行委員長 加藤憲忠

本コースは、産業医の実務に役に立つタイムリーな話題の提供、および実践的な産業医技能の獲得を目指す研修プログラムです。毎回の受講者からは高い評価をいただいております。参加された受講者間のネットワークも広がっています。参加には、専属産業医、嘱託産業医を問いません。意欲のある先生方のご参加をお待ちしています。

1. 研修テーマ：産業医のケースマネジメント力を上げる！～DSM-5をふまえて～

2. 開催日：2014年2月1日（土）～2月2日（日）

3. 会場：オンワード総合研究所 人財開発センター

<http://www.onward-kensyu.com/index.html>

〒224-0012 神奈川県横浜市都筑区牛久保3-9-3

TEL (045) 912-8812 FAX (045) 910-1090

(羽田空港より最寄り駅「たまプラーザ(田園都市線)」駅までの直行バスがあります)

4. 内容

—1日目—

1) パーソナリティ障害・発達障害を理解する 13:00-15:00

講師：白波瀬丈一郎（慶應義塾大）

- 産業医に必要な基礎知識（DSM-5含む）
- ケースマネジメントの実際

2) 解決力を上げる（Ⅰ） 15:20-18:00

講師：森崎美奈子（京都文教大）

就労の現状とその問題点：支援の方法・問題解決を学ぶ

- パーソナリティ障害・発達障害をどうとらえるか
- コミュニケーション技法
- 信頼関係の築き方
- 事例解決の進め方

情報交換会（懇親会）

18:30-20:30

—2日目—

3) 解決力を上げる（Ⅱ） 9:00-12:00

進行：吉川 徹（労研） 講評：三柴丈典（近畿大）

- 事例検討

講師：三柴丈典（近畿大）

- パーソナリティに問題を抱える者と法

5. 募集人数：50名

6. 受講料：日本産業衛生学会産業医部会員 20,000円（2日間コース）

日本産業衛生学会会員（医師） 25,000円（2日間コース）

7. 受講修了者には修了証を産業医部会長名にて発行致します。

8. 申込方法等：次ページ「参加申込書」を作成しFAXしてください。

1) 資格：産業医部会員の有無 を選択してください。

2) 連絡先を記載：氏名、住所（参加確定後に書類等の送付先になります）、電話番号／FAX／メールアドレス（すべてご記入下さい。以降の事務連絡先となります）

3) 宿泊：研修会場にて宿泊することが出来ます（個数限定のため先着受付となります）。

シングル：¥11,000（税込、朝食付き、全室禁煙）。ご希望の方は「宿泊希望」をご記入下さい。

4) 情報交換会（懇親会）：初日プログラム終了後、パーティ形式の懇親会を行います。担当講師、運営スタッフも参加しますので議論や懇親を深めることができます。参加ご希望の有無をご記載下さい。参加費用は ¥4,000円（コース受講費とは別）。

5) 申し込み先：FAXでお申し込み下さい。

「(株)ヒューマン・リサーチ内 産業医プロフェッショナルコース事務局」

FAX 03-3358-4002 〒160-0011 東京都新宿区若葉2-5-16 向井ビル3F

(株)ヒューマン・リサーチ TEL 03-3358-4001

9. 応募の開始と締切

・応募開始（先着順受付とさせていただきますのでご了承ください）

産業医部会員 2013年11月1日（金）9:00から

非部会員（医師かつ学会員が必要） 2013年11月8日（金）9:00から

- ・応募締切（部会員／非部会員を問わず）2013年11月20日（水）17:00まで
 ア）応募締切後，参加決定者には事務局より受講料振込み等の必要書類を郵送致します。
 イ）お振込みいただく金額は，受講料，情報交換会費（希望者），宿泊費（希望者）となります。

10. 補 足

- 1) 産業医プロフェッショナルコースは「産業衛生学会専門医制度委員会」と連携しています。本コースは専門医研修中の先生方に対する教育コースに認定されておりますので，受講実績は研修単位（専門医の場合は指導医への認定単位）として認可されます。
 2) 産業医プロフェッショナルコースは，日本医師会認定産業医単位の発行はしていませんのでご注意ください。

----- (切り取り) -----

日本産業衛生学会
 産業医 P コース事務局行
 (FAX : 03-3358-4002)

申込日 _____ 月 _____ 日

日本産業衛生学会 産業医部会
 産業医プロフェッショナルコース参加申込書

コース名	産業医のケースマネジメント力を上げる！～DSM-5をふまえて～
氏名	フリガナ ()
産業医部会員の有無	① 産業医部会員 (地方会所属) ② 非産業医部会員
連絡先(書類等の送り先)	(自宅 ・ 勤務先) 〒 _____ _____ 日中つながる番号をお書きください。 TEL : _____ FAX : _____ わかりやすくお書きください。 e-mail : _____
情報交換会(懇親会)	① 参加する ② 参加しない
宿泊希望(研修会場内)	① 希望する ② 希望しない
備考(費用)	1. 受講料 ・ 産業医部会員 20,000 円 ・ 非部会員 (学会員かつ医師) 25,000 円 2. 情報交換会 (懇親会) 4,000 円 (希望者のみ) 3. 宿泊 (朝食付き、シングル、全室禁煙) 11,000 円 (希望者のみ)
連絡事項	